

ベンゾジアゼピン受容体作動薬を内服されている方へ

ベンゾジアゼピン受容体作動薬（ベンゾ系薬剤）とは、睡眠薬、抗不安薬（安定剤）として用いられているお薬です。

デパス（エチゾラム）、マイスリー、ハルシオン、プロチゾラム（レンドルミン）、リスミー、アモバン、ルネスタ、サイレース（ロヒプノール）、ソラナックス、ワイパックス、セルシン、レキソタン、などが相当します。

【作用】

眠気、鎮静、抗不安、筋弛緩、抗けいれん

【副作用】

ふらつき、転倒、記憶障害（内服した後から寝付くまでの間や夜中に目覚めた時に取った行動を、翌朝覚えていない。）、依存性（どうしても飲みたいという強い願望。飲まないと思えないのではないかと思ひ込む。）、耐性（同じ量で効果がなくなる。）、退薬症状（急に止めると不眠、動悸、吐き気、不安感などの離脱症状が出てくる。このため、止めたくても止められない。）、脱抑制（理性の働きが鈍くなり、普段とは違って、怒りっぽい、涙もろい、寂しがる、わがまま言う、上機嫌、などの年齢不相応な行動を取ってしまう。）、せん妄

上記副作用がありますが、入院中に一番問題となりやすいのは、せん妄です。せん妄とは、身体の状態悪化に伴う意識障害です。入院加療が必要な身体状態の方がベンゾ系薬剤を内服していると、入院中にせん妄を来す可能性が高くなってしまいます。

当院では、入院中の患者様に対するベンゾ系薬剤の使用を、せん妄発症の予防的観点から控えさせて頂いております。これまでベンゾ系薬剤を内服されていた方は、せん妄などの有害事象が生じにくい他のお薬に入院期間中は変更されることをお勧め致します。

安全な入院生活を送れるように、皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

